

第45期モットー「お客さまに喜んでいただけるプロになろう！」Ⅲ
ー5分前・前準備・後始末ー

「幸せを願って」

NO.221

H24. 12. 10

(株) ユ キ
ダスキン新居浜支店
社長 小野 正師

合掌 師走に入りました。年々、一年の経つのが早くなっております。昔と比べ、お正月色が薄くなってきましたが、それでも単なる連休ではありませんので、一年の締めくくりをきちんと仕上げ、新年を気持ち新たにスタートさせましょう。

さて、12月号たんぽぽ通信でも報告いたしました。1700店加盟のダスキンフランチャイズチェーン全国加盟店会理事長に内定いたしました。正式には来期5月の総会からのスタートとなりますが、早速来期の三役人事や事業計画の相談、本部対話等、じわっと気ぜわしくなり大阪本社を来しています。11月8日に行われた、理事長選考委員会の当選結果を告げられた時には、自分で手を挙げておきながら、使命と責任の重大さに正直身震いするような高揚感を覚えました。その日は大阪泊まりでしたが、誰かとはしゃぐこともなく静かに相手のことを慮り、そして今後の重責を思案しながら、一人で杯を傾けました。大それたことをしたのではないか、本当に自分に相応しいのであろうか、と。

それから、帰宅後しばらくして日本地図を購入し、社長室に貼り出しました。地図を前に自分の立ち位置を見ると、四国って本当に小さな島なんですね。日本全国は思ったよりも、大きい、広い、でっかい……。私の育ったところは、四国・西条新居浜です。四国の経済力・民力(人口等)・ダスキンの売上等、全て全国の3%を切っておりません。2.6～.7%です。マクロに見れば、これが現実の実態です。しかし、私も皆さんもここで生まれ育ちました。私の一番大切な故郷です。ここを軸足に、これから全国の旅に出ます。私の原点であるこの地から強烈なエネルギーをもらって、新たな仕事に取り組みます。皆様には、これから何かと心配や迷惑をお掛けしますが、ダスキン新居浜支店があってこそその勝負というか、挑戦となりますので、温かく見守ってください。全国のダスキン仲間も、新居浜支店がナンボのものぞと見ていると思います。私も微力ながら「怖(お)めず臆せず堂々と」全国に向けてチャレンジいたします。応援ください。一緒に新居浜支店を日本一のお店に育ててください。どうか宜しくお願いいたします。

日本地図を見ていると、昔誰かに教えてもらったことを思い出しました。それは、日本地図は実は世界の縮図なんだということ。例えば、九州はアフリカ大陸と南米大陸、四国はオーストラリア、本州はユーラシア大陸、北海道は北米大陸、世界が日本の中に集約されているようにも見えるのです。尊敬する船井先生や佐藤先生が、これから世界が日本に学ぼうとする日本の時代が来ると予言されていますが、あながち嘘でもありません。特に昨年の 3・11、空前の大震災大津波に見舞われた日本を東北を、世界中の人々が日本人の優秀さ、律儀さ、我慢強さ、真面目な人間性に感嘆したのです。日本人は、もっと自分たちのことに自信と誇りを持つべきです。堂々と生きるべきです。自国の歴史、伝統、文化をしっかりと学び誇り高く生きるべきです。

日本地図を全国 11 ブロックに赤マジックで線引きをしました。各県の位置を再確認し、改めて 11 人のブロック会長の笑顔の思い浮かべました。来年には、ダスキン本社が創業 50 周年の大きな節目を迎えます。大変厳しい社会状況ではありますが、更なる 50 年先、100 年続く企業への基盤づくりを行います。日本一のおそうじ会社であるダスキンの未来を、高邁な理想を高く掲げ追求します。本社は、社会から必要とされ、なくなるとは困る企業づくりを、加盟店は地域から尊敬されるお店づくりをめざすのです。

さて、突然の衆議院の解散により、年内総選挙が決まりました。個人的見解ですが、もしかしてと思った民主党もこの 3 年、大衆迎合のバラマキ政策と殆ど機能しなかった偽マニフェストで日本国をガタガタにしていきました。所詮、国家観のない左派系(組合・日教組・旧社会党)非自民系の寄せ集め集団でした。かと言って自民党が大丈夫なのかと言え、そうでもありません。この混沌とした政界に第三極の日本維新の会が誕生しました。前東京都知事の石原慎太郎さんと大阪市長の橋下徹さんが手を結びましたが、これもどうなるやらとの少々怪しい気配です。ただ、私たちの愛媛第 3 区で立候補する西条出身の「森なつえ」さんは、異色の若い希望の持てる女性のように。次長の西条高校時代の同級生だそうです。お話をしても頭脳明晰、積極性、行動力等、大変優秀な方です。ご本人の名刺を同封しておきますので、ご参考になさってください。政治が安定しなければ、経済も社会も国家の安全や領土問題も不安定、不確定のままです。何とか落ち着いて欲しいと願うばかりです。

この一年間も大変お世話になりました。何かと忙しい、慌しい一年でしたが、皆さんそれぞれの部門やポジションでよく前向きに頑張って努力くださいました。誠にありがとうございました。少々早いですが、来年巳年もご健勝でよいお年となりますよう祈っております。師走を元気良く走り抜けましょう。

合掌